

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

「多面的機能支払交付金の安全研修と事務研修」の開催



令和元年度中に多面的機能支払交付金の共同活動中に発生した事故件数は本省に報告のあったものだけで51件にのぼり、前年度より増加しました。被災状況を見ると、平成29年度は0件であった死亡事故が4件発生しました。事故の内訳としては草刈り機等への接触による被災(主に創傷)が10件、転落・転倒が20件で全体の過半数以上と非常に多く、保険に加入せず行った作業中の事故もいまだに発生しています。

これまででも作業安全対策を講じてきたところであります
が、死傷事故が年々増加する状況を受け、令和2年度の制度改正で実践活動等の際には、安全な活動に努めるものとし、研修メニューに「機械の安全使用に関する研修」を全ての活動組織に活動期間中に1回以上実施することが追加されました。

三重県農地水協議会では、当初「みえのつどい」で研修を実施する予定をしておりましたが、新型コロナ感染拡大の影響で「みえのつどい」が中止となりました。ただ、令和2年度

に終期を迎える活動組織は令和2年度中に研修を実施する必要がありましたので、新型コロナ感染拡大防止対策を施した上で、密を避けるため、各農林事務所単位で「安全研修」を「事務研修」と併せて開催しました(伊賀農林事務所管内は新型コロナ感染拡大の影響により中止)。

研修は11月26日に伊勢農林水産事務所管内、11月27日午前に熊野農林事務所管内、午後に尾鷲農林水産事務所管内、12月2日午前に津農林水産事務所管内、午後に松阪農林事務所管内、12月3日に四日市農林事務所管内、午後に桑名農政事務所管内の活動組織の方を対象に、三重県農地水協議会による「事業完了に向けた事務研修について」、三重県による「田んぼダムについて」の説明の後、大阪の株式会社丸山製作所の三好氏が「刈払機の安全と保守管理」と題し、刈払機の構造、使用上の注意点、適正な保守管理について実物の刈払機等を持ち込み実演を交えての研修を行いとても有意義なものとなりました。



【活動報告】

こものちょう みどり さと かい 菰野町水土里の郷の会(菰野町)

1. 活動組織の概要

設立年月日 平成20年4月1日

協定地域 菰野町内14地域(西菰野・谷南瀬古・神森・音羽・池底・千草・大強原・吉沢・田口新田・福松・岡・杉谷・榦・奥郷)

協定面積 65,551 a

対象施設 水路 155.6 km、パイプライン 76.8 km、農道 123.7 km、ため池 14箇所

取組活動 農地維持支払、資源向上支払(共同活動)、資源向上支払(長寿命化)

2. 活動の状況

県内屈指の協定面積を有し、町内14の地域が、支部に分かれ、それぞれが特色ある活動を実施しています。一例をあげますと、耕作放棄地になっていた農地を利用して、ヒマワリやコスモスなどを播種し、遊休農地の解消、かつ美しい農村風景を守るために景観形成活動を行っています。また将来を担う子供たちへ田植え体験や稻刈り体験などの農業体験をとおして、農業への関心を持ってもらうよう、サポートをしています。近年は、町内各地で有害鳥獣害による、農作物への被害が増加の一途をたどっており、営農への深刻な影響を及ぼしています。侵入防止柵や電気柵などを設置し、被害の拡大防止にも取り組んでいます。毎月1回、各支部の支部長が集まり、代表者会議を開いて、支部ごとの活動報告や意見交換、運営等について協議を行っています。

14地区の活動紹介



薩摩芋の植栽体験学習
西菰野支部



葉牡丹の植栽
谷南瀬古支部



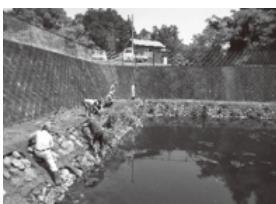
排水路法面修復作業
神森支部



取水口の泥上げ
音羽支部



遊休農地の除れき
池底支部



ため池の清掃
千草支部



水路の草刈り
大強原支部



もち米収穫体験学習
吉沢支部



池干し・外来種の駆除
田口新田支部



希少稲によるしめ縄作り
福松支部



植栽した芝桜の管理
岡支部



異常気象後の応急処置
杉谷支部



調圧水槽の泥上げ
榦支部



獣害対策用フェンスの設置
奥郷支部